

関東のいづもさん むすひ

平成 30 年 12 月号

発行
出雲大社相模分祠
神奈川県秦野市平沢 1221
TEL:0463-81-1122
FAX:0463-82-1728
編集兼発行人
副分祠長 草山和泉
季刊毎年 2 回発行
<http://www.izumosan.com/>

新春初詣のご案内

- 一、正月期間のご参拝について
○大晦日より元旦晩まで夜間参拝ができます。
・大晦日 二十時より元旦祈禱受付開始
・元旦 0 時 新年の報鼓 初詣開始
新年初詣一番祈禱齋行
・午前二時三十分 夜間祈禱受付終了
・午前二時三十分 境内大テント・露天商消灯
但し、境内は夜間ライトアップ特別警備有り
お参り・おみくじ・授与品頒布対応は可
・午前六時三十分 新年初詣受付開始
・午前六時四十分 初日の出
・午前七時 境内大テント頒布開始
・午前七時 龍蛇神社 特別拝観開始
・午後五時 新年初詣受付終了
・午後八時 授与品頒布終了
※夜間参拝可・夜間は二十時までライトアップ有
- 二日
・祈禱受付 (午前八時三十分～午後五時)
・お守り所 (午前八時三十分～午後八時)
・龍蛇神社 特別拝観 (午前十時～午後三時三十分)
※夜間参拝可・夜間は二十時までライトアップ有
- 三日
・祈禱受付 (午前八時三十分～午後五時)
・お守り所 (午前八時三十分～午後八時)
・龍蛇神社 特別拝観 (午前十時～午後三時三十分)
・月次祭 (午前十一時三十分)
・餅つき (午後三時三十分)
・福迎祭齋行 (午後二時三十分)
・福餅まき (午後二時三十分)
※夜間参拝可・夜間は二十時までライトアップ有
- 新年初詣は一月中毎日行っております。(予約不要)
- 正月三日は境内に二三〇台の駐車場・秦野市保健福祉センター他約五〇〇台の駐車場をご用意しておりますが、毎年大変込み合い利用が難しい状態です。なるべくバスや公共機関のご利用にご協力下さいませ。
- ◇無料送迎マイクロバス運行のご案内 (元旦より三日迄)
秦野駅南口より当分祠近くまで 予約不要無料
期間 元旦(六日)(日)、十一(土)、十三(日)
十四(月祝)、十九(土)、二十(日)、二十三(日)
二十六(土)、二十七日(日)、二十八(日)

新春福餅まき 福迎祭齋行

平成三十一年一月三日恒例の福迎祭が執り行われる。福の神とも名高いダイコク様の一年で最初に福を迎える祭典。現役最年長関取の安美錦関はじめ伊勢ヶ浜部屋による盛大な餅まきが開催される。お相撲さん・崇敬者による餅つきや、ダイコク様エビス様によるお菓子配り等も予定されている。当日境内は入りきれないほどの参拝客に溢れ、新年の干支飾りや破魔矢など正月しかない縁起の良い飾り物に彩られ、賑やかな様相を見せる。元旦より新年初詣が催され、古式豊かな出雲神楽の音色を奏で新年最初の願いを神様にお願する。特に新年の初詣には無病息災の「延壽屠蘇(えんじゅとそ)」を特別授与品として用意している(二世帯につき一俵・先着千名迄)。



ダイコク市開催!!

平成三十一年新春より、当分祠境内参道に於いて、ダイコク市が開催される。秦野を中心に活動する丹沢マルシェ・マーケットとの共同企画となる。夏の縁日ほおずき市の際に三〇店舗以上出店された丹沢マルシェ・マーケット。Fmy's(ふの)のハンバーガー・ロングボート販売を始め地元商店やクレック屋台・アルコール・ドリンク類等・おいしいキッチンカーの出店も予定。当分祠のお正月にしかない特別なマルシェが楽しめる。



参拝者に向けて新年の『いづも暦』の無料頒布(二世帯一部)等も執り行っている。是非ご参拝頂きたい。

多賀新氏 オリジナル原画時絵 御朱印帳完成!

新年より当分祠の亥のオリジナル干支御朱印帳を新たに頒布する。多賀新氏によるデザインで当分祠でしか手に入らない貴重な御朱印帳である。蒐集家にはうれしい一つ。数に限りがあるのでお早めにお求め頂きたい。

また、昨大好評を得た時絵御朱印帳も新たに二千冊重版する。鳳凰と神話に伝えられる空想上の神獣のデザインで伝統工芸の薪絵調に金箔装丁した大変豪華な御朱印帳である。

無料送迎バスのご案内 (元旦より三日迄)

◇昨年度大好評だった送迎バスを本数を増便して本年も実施する。秦野駅南口より当分祠近くまで送迎マイクロバスを運行。予約不要無料でご利用できますが、乗車人数に限りもございますのでご了承下さいませ。(二十五名乗り)
◇ダイコク市丹沢マルシェ・マーケット開催日にも送迎バスを運行。



元旦・二日・三日 二日三節分祭は神社周辺道路が大変込み合いますので神社側バス停は八雲庵前になります。他の日は境内入口にバス停を用意します。

新年は歳神様をお迎えして

新しい年を祝うお正月は、我々日本人にとって身近で心躍る年中行事であるが、実は古くは祖先の霊を迎えてまつという意味もあった。今でも大方の日本人は三が日は仕事も休みで帰省して家族親族で正月を迎えるものだが、これは家の祖霊に挨拶する為でもあり、古き良き日本の伝統を伝える習俗ともいえる。お正月には各家庭で門松を飾り、鏡餅を用意しお祝

する。この門松は年の初めに祖霊神とも信仰される歳神様をお迎えする為の習わしで、鏡餅は歳神様の依り代として飾るものであった。お正月にはおせちや雑煮・餅を楽しむにしている家庭も多いであろうが、じつはこの時期にしかいらつしやらない歳神様へのお供えでもあり縁起の良い鏡餅を食して幸福を賜う伝統行事でもある。

この秦野でも古くから釜(かまじめ)と言って、火

1月4日(金)	5日(土)	6日(日)
12日(土) 13日(日) 14日(月祝)	19日(土) 20日(日) 21日(月祝)	26日(土) 27日(日)
2月3日(水) 【箱分餅】	毎週末40分間隔運行	※12日以降の運行日はダイコク市丹沢マルシェマーケットほかキッチンカー・屋台販売あり
秦野駅南口発	時	出雲大社相模分祠発(歩道停留所)
30	9 50	
10 50	10 30	
30	11 10 50	
10 50	12 30	
30	13 10 50	
10 50	14 30	
30	15 10 50	
10	16 30	

参拝者専用無料バス時刻表		
秦野駅南口発⇨出雲大社相模分祠行		
元旦・2日・3日		15分間隔で運行
秦野駅南口発	時	出雲大社相模分祠発 (八雲庵前停留所)
30 45	9	
00 15 30 45	10	00 15 30 45
00 15 30 45	11	00 15 30 45
00 15 30 45	12	00 15 30 45
00 15 30 45	13	00 15 30 45
00 15 30 45	14	00 15 30 45
00 15 30 45	15	00 15 30 45
00 15 30 45	16	00 15 30 45
00	17	00

秦野の桜で和菓子作り

「美保岐金平糖」

今年も秦野名産の桜を活用し、当社の神菓「美保岐金平糖」を製作すべく秦野桜の摘み取りが行われた。採取された桜の花は新鮮なまま冷凍され和菓子作りで有名な島根県出雲に持ち込み、丁寧に抽出された桜のエキスを混ぜいれながら三週間かけてじっくりと金平糖作りは続けられる。「美保岐玉」をイメージして作られた三色の金平糖。「美保岐玉」とは青石・白・赤めのうから作られた宝物で、出雲國造（島根県出雲大社宮司）が代替わりの際、出雲國造は天皇陛下の御前において「神賀詞」を奉り御皇室の弥

栄を祈って、白・赤・青の瑪瑙で奉製した出雲の祈りの寿ぎの「美保岐玉」を奉献してきた。青勾玉は「深い水の色を表した命の源の象徴」し、白丸玉は「髪が真っ白になるほどの長寿を願う」とさ



健康を願う」と伝えられている。この美保岐玉の故事に由来して縁起の良い三色の金平糖を奉製した。



◇秦野特産の桜を使った赤玉金平糖。桜が満開に咲く姿は大変縁起が良いとされ豊作を意味します。春先に秦野の里山で丁寧に手摘みされた桜を使い当社で採取から加工まで手掛けた厳選の一品です。

◇島根県産の塩を使った白玉金平糖。塩は古くより生命の象徴でもあり万物を祓い清める力がある



◇秦野で栽培し加工した緑茶葉を使った青玉金平糖。お茶は摘んでも摘んでも芽が出てくる常緑木なので「お芽出たい」とされ、お祝い事等に重宝します。

◆亥年最中
毎年正月には期間限定で干支を象ったかわいらしい最中を奉製しているが今年には十二支の最後の動物、いのししを象った素朴な最中。いのししは、無病息災の象徴とされ、わけても「田の神・穀物の神」の意味合いもあるとされている。正月限定の八雲庵のオリジナル和菓子の一つです。

◆美保岐餅
出雲國造（島根県出雲大社宮司）の代替りの時に奉獻される三色の「美保岐玉」にちなんで謹製された白・赤・青の生菓子です。長寿と健康を祈る縁起の良いお餅ですので、慶事の際の贈り物や年賀の手土産としてご利用下さい。（正月期間限定販売）

正月行事 『龍蛇神の社』特別拝観

当分祠「千年の杜」の守護神として、鎮座する「龍蛇神様」は大地の神・水の神・金運・縁結びの御利益のあるダイコク様の御仕神様です。「千年の杜」では慶長十四年より湧水する「ゆずりの水」が溢れ、夏には蛍の飛び交う幻想的な鎮守の杜となっております。また、環境省指定の全国名水百選にも選定されるこの湧水を取りに県内外よりお水とりの人々で賑います。



秦野盆地の地下は天然の水がめとなっており、丹沢山系に降った雨が長い年月をかけて地下水となり、市内各地でわき出ており、秦野盆地湧水群として昭和六十年に環境省の名水百選に選定された。また、平成二十八年に環境省が行った「名水百選」選抜総選挙の「おいしさ」が素晴らしい名水部門において、秦野の名水は全国一位を受賞する。

◆日時 平成三十一年四月十四日（日）午前十時開式◆場所 神奈川県秦野市洪沢二二二六（栃窪スポーツ広場）◆植樹面積 九二〇㎡◆植樹本数 二九五本◆後援 千年の森づくり実行委員会◆主催 出雲大社相模分祠 栃窪神社 栃窪自治会

緑の植物からなる森は、生態系の中で唯一の生産者です。それに対して人間を含めた動物は全て消費者であり、緑の植物に栄養源を頼っています。どんなに科学・技術を発展させ、富を手に入れても、私たち人間は他の動物と同じように、緑が濃縮している森に依存して生きています。土地本来のふるさとの木によるふるさとの森、すなわち日

本人が四千年来自然を敬い、自然と共に生きてきた日本の英知、『鎮守の森（今日では世界共通語となっているCHINJU NO MORI）』は私たちの生存基盤です。本物のいのちの森づくりは、混植・密植し色々な種類がお互いに競争しながら少し我慢して共に生きる自律的な生物社会の構築を目指します。このような生物多様性に富んだ土地本来の森であれば、台風・地震・大津波にも耐えられます。長い年月をかけてその土地のあらゆる条件に耐えて生き延びている高木、亜高木、低木、下草の多層群落を形成し、土地の中のカビやバクテリアまでが一つの生態系というシステムとして成立、機能し

の生物多様性を育む強い森を再生して、炭素を木に森に閉じ込める事です。日本の一億三千万人、世界の七十億人が四年に一度のオリンピックとくう大イベントごとに一人三本、十本植えて、足元から森を作ったらどうなるでしょうか。行政、企業、国際機関、地域の各団体、NPO、NGOが森づくりの舞台監督、主役は小・中学生の皆さんから壮年・熟年の人たちまで全ての市民です。ともに額に汗し、大地に手を触れて、足元から命の森を作っていきましょう。

《月毎の祭典》
◆毎月一日 十時三十分 出雲大社相模分祠月次祭（参列自由・予約不要）
◆毎月第一日曜日十五時 祖霊社・月次祭（参列自由・予約不要）

名物むすび大福販売開始・正月和菓子のご案内

《平成三十一年行事予定》

- 一月一日 歳旦祭
- 三日 福迎祭
- 二月上旬 梯子のり
- 二月三日 節分祭
- 二月四日（立春）くす下
- 二月十一日 梅祭り
- 二月十七日 紀元祭
- 三月 祈年祭
- 三月 春分の日
- 祖霊社春季祖霊祭
- 四月上旬 大花見会
- 四月 菊作り教室開始
- 六月晦日 夏越の大祓
- 七月五・六・七日 ほかずき市朝顔市（みたままつり）
- 丹沢マルシェ・マーケット
- 七月十三日〜十六日（新暦お盆参り）
- 祖霊社みたままつり
- 八月上旬 出雲大社教団大祭 おくのがえり（島根県）
- 八月十三日〜十六日（旧暦お盆参り）
- 祖霊社みたままつり
- 九月九日 出雲大社相模分祠例祭
- 九月 秋分の日
- 秋季祖霊大祭（祖霊社）
- 旧暦十月十日 新暦十一月六日 出雲大社（島根県）
- 神迎祭
- 旧暦十月十一日〜十七日 出雲大社（島根県） 神在祭
- 十一月 菊花展
- 十二月二十三日 天長祭
- 十二月二十三日 新嘗祭
- 十二月下旬 年越の大祓

平成31年節分祭・豆まき開催 ご案内

来る二月三日、節分祭を斎行致します。併せて立春に先駆けて皆様の厄除招福特別祈願祭を斎行し、恒例の豆まき神事を執り行います。善男善女・年男女の参加を募集しておりますので、奮ってご参加頂けますようご案内申し上げます。

平成三十年 師走

出雲大社相模分祠長 草山清和



記

一、日時 平成三十一年二月三日 節分祭

午前の部

十一時三十分 神事

十二時三十分 豆まき

後 会食パティあり

初穂料一万円

(二名につき)

午後の部

十四時三十分 神事

十五時三十分 豆まき

後 会食パティあり

初穂料一万円

(二名につき)

【但し福升・福豆・立春大吉縁起・記念品含】

※伊勢ヶ浜親方・宝富士閣・安美錦閣・照

強閣ほか伊勢ヶ浜部屋閣取参列予定

◎申し込み締め切り平成三十一年一月二十日

◎申し込み方法 申し込み書、お電話にて

二月三日恒例の節分祭が斎行される。現役最年長関取の安美錦閣をはじめ伊勢ヶ浜関取達による迫力の豆まきが執り行われる。毎年、まき手は二百名近く、参加者は三千人にも及び大変な賑いである。五千以上の福豆入りの袋をまき、袋の中には抽選券が入っており景品と交換できる。はずれなしで上位には家電製品などの豪華景品も含まれている。当分祠の篤志家や崇敬者による協賛も少なくない。まき手は事前に申し込みを頂く必要があるが、景品付きの福豆ひろいには誰でも無料で参加できる。当日は事故防止の為に子供のお年寄りの部が手渡しにて事前に行われ、そののち盛大な豆まきが斎行される。



平成三十一年二月三日は日曜日ということもあり午前の部、午後の部と二回にわけて行う。また当日は恵方巻きの販売や、丹沢マルシェフリーマーケットのキッチンカー販売も行われ、ここにしかない秦野の味を楽しめる。是非とも節分の縁日の日には家族みんなでお越し頂きたい。

平成三十一年 新春行事

《梅祭り開催》

◇二月四日(日)二月末頃迄午前九時午後四時迄

秦野最大級の梅の樹林帯の中にある境内は、樹齢百年を超える梅の古木で囲まれます。例年、立春から二月頃が梅花の見頃となっております。春の息吹を感じ、梅花を眺めながらお過ごし下さい。(期間中は境内で甘酒を無料振舞っています。)

《野点の茶会開催》

◇二月二十四日(日)午前十時午後二時頃境内において、梅まつり恒例の野点の茶会を予定しております。地元庸軒流の先生をお招き致しまして神社参拝の方に無料振舞っています。

庵の厳選和菓子をご用意します。数に限りがありますのでお早めにお越し下さいませ。

九月二十三日(秋分)に当分祠祖霊社において秋季祖霊大祭が賑々しく斎行された。出雲大社の御祭神大國主大神様は、幽冥主宰大神(かくりよし)と親しまれ、古くより霊魂の世界を司られるとして特別な崇敬がある。春秋のお彼岸はお中日とも呼ばれ昼と夜の長さが均一になることから、この世とあの世が近くなると信じられ、お彼岸の日には、お墓参りをしたり牡丹餅・おはぎをお供えしたり丁重に先祖供養がされてきた。

秋の慰霊祭が斎行された。神事後、隣接の出雲記念館で直会(会食)が開催され、福引抽選会やフルートの軽やかな音色による演奏などが催され一同心を和ませた。今後とも大國主大神の御加護により、家々の守護神と鎮まりますご先祖様の御霊の一層の冥福が祈られる。

みたまつりのご案内

当分祠の西側に鎮座する祖霊社にて、毎月第一日曜日の午後三時より合同のみたまつり(慰霊祭)を斎行しております(参加無料)。神楽をあげて祭詞を奏上する中、御参列の方のご先祖様・愛する故人の御名前を一人ずつお読み上げして丁寧な供養致します。

また、ご予約頂きまして各御家の先祖供養のみたままつりもしております。五十日祭・一年祭・三年祭・五年祭・神葬祭など神式での慰霊祭を考えていらっしゃる方はご相談下さい。祭典後の直会(会食)も隣接出雲記念館で出来ます。祖霊社で斎行することも御自宅・霊園へ出張祭典も承っております。



旭丘高校相撲教室

『平成三十一年度 協賛(順不同)』

愛和食品(株)・三河屋杜の豆腐

工房・NPO法人ADVAあ

どば・イオン秦野店・石庄庵

・伊勢ヶ浜物産・カラ西尾とも

ね・ギャラリー宙・プロゴル

ファー・久保健一・(株)グランス

・KMフォトスタジオ・ココ

ライーストレンジ・(株)斎藤

衣業店・清水産業(株)・(株)湘南

・(株)杉兼商店・富田花園

・野村マス子・秦野市観光協会

・(株)華屋酒販・(株)レンブラン

トホールディングス・美容室

レスポール・フラワーション

・ジュリア・フルール花本

・セブンイレブン秦野菅原東

店・(有)芳甘菓豆芳・毎日新聞

秦野南部販売所・(有)峰商店

・合同会社MOTO・プロゴル

ファー・宮本勝昌・八雲庵・(有)

やなぎ家・(有)山口材木店・横

浜トヨペット(株)・(株)アダンテ

当社の新年行事の伊勢ヶ浜一門の餅まきの折などは旭丘高校相撲部の生徒達と関取力士が触れ合う貴重な機会になっている。本年八月二十二日、旭丘高等学校(小田原)にて伊勢ヶ浜部屋力士の指導のもと、「第四回夏季少年相撲教室」が開催された。毎年正月或いは節分の折に伊勢ヶ浜部屋力士が当社に参拝するご縁の中、神奈川県より日本人力士を輩出する旭丘高校相撲部顧問の岸田弘光先生指導のもと本行事を開催して四回目になる。旭丘高校相撲部は創設七年目とまだまだ歴史は浅いが、顧問の岸田先生の熱心な指導の御蔭をもつて年々着実に実力を



士雄一郎と改め、元横綱富士、伊勢ヶ浜親方の指導の下、安美錦、宝富士、菅富士、照ノ富士ら先輩力士等による稽古に励んでいる。今後の活躍に期待したい。

巫女舞・奏楽稽古の風景

本年新たに高校を卒業して新人巫女奉職があり、初々しく巫女の作法を学ぶ傍ら、大神様へ奉納する巫女舞の練習も欠かせません。出雲大社で奉納される神楽は山陰地方に古くより伝わる独自の音楽・出雲神楽で、出雲地域に於きましても大変多様な社中に受け継がれ、今も地域それぞれが独自の特徴をもって伝統文化として伝承されております。

当相模分祠におきましても平素より舞や太鼓・笛等の神楽の稽古をしながらかつ頭の奉仕をします。また、出雲神楽だけではなく二月十一日の紀元祭に奉納する浦安の舞も今勉強しています。通常の社会では見かけ



年越大祓の御案内

十二月の晦日、恒例の年越大祓（おおはらえ）神事が社殿内にて斎行される。

斎行日

十二月三十日（日）

午後三時

玉串料 三〇〇〇円

授与品 金平糖

大祓符

夢枕符

古来我々の先祖は、毎年六月晦日・年末の「大祓」によって心身を清浄にし、新しい年の幸せを祈願しました。この祭儀に先立ち「人形・車形」をお届け致しますのでご家族のお身体・お車をお清めになった後、同封の返信用封筒にてご返送いただくか、大祓当日にご持参下さい。新しい一年の「幸せ」のご縁を授かりになりますようご案内申し上げます。

出雲大社相模分祠
分祠長 草山清和

【ご来社される場合】

当日ご参列の方は人形（ひとがた）・車形（くるまがた）をご用意の上、玉串料（三千円）を添えて授与所へ受付までお越し下さい。【予約不要・当日参加可】大変込み合いますので二十分前にはお越し下さい。

【当日来られない方】

当日ご参加できない方は事前にお預かり致します。人形・車形・御祈願料を封筒に入れてご持参下さい。

【郵送される場合】ご参列の叶わない方は郵便振込にて御祈願料の三千円を添えてご送金下さい。後日、記念の縁起物を発送致します。

新年初祈禱の案内

平成最後のお正月を迎え、平成三十一年元旦より新年初祈禱を斎行します。一年の平穏を御祈念し、家内安全・厄除け・八方除などぜひこの機会にご参拝お待ちしております。お正月の特別授与品として先着千名の方に「延壽屠蘇（えんじゅとそ）」を（二世帯一帯）お授け致します。

また大神様は商売繁盛の神様として名高く崇敬を集めております。会社の仕事初めの際には新年祈禱として「事業繁栄」「商売繁盛」などお受けしております。会社祈禱に際しましては事前に予約も承っております。（但し玉串料一万円より）詳細はホームページに記載しておりますのでご相談ください。

人形・車形の使い方

人形とは古くより禊祓をするときに人間の身代わりとして用いてきました。撫物（なでもの）ともいわれる厄を移した後、川などに流してしましました。当分祠では夏冬の大祓の際に、人形（ひとがた）・車形（くるまがた）を用意し、人形・車形を形代（かたしろ）にして自らの罪穢れを移しお祓いします。

ます乗用車、二輪車、バイクなどの四方を撫でこすって罪穢れをお祓いし当分祠にお納め下さい。大祓の神事の際、身代わりとしてお祓いし、後ほど忌火をもってお焚き上げします。人形は大祓の当日もご用意しておりますので、ぜひご参列下さいませ。

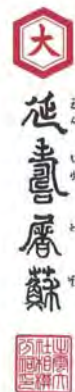
お祓いします。人形の紙に氏名を記入し、息を三回吹きかけ、頭から全身気になる場所を撫でこすり、悪い気を取り移してお祓いします。車形に氏名・ナンバーを記入し同様にご利用しております。



大祓車形記入例



大祓人形記入例



御祈願料

・三万円（巫女舞あり）
・二万円・一万円
・七千円・五千円

◇祈願料に際してはお札の大きさ・授与品が異なります。願い事一つにつき、一体のご神札・お守りをご用意します。
◇祈禱授与品は神札・御守り・神葉になります。破魔矢・立春大吉縁起・千支石鹸はご用意しております。授与所で頒布しておりますのでご入り用の方は別段お求め頂きます様お願い申し上げます。
◇年中無休で祈願受付しております。
◇会社祈禱は事前予約を受けたまっております。（但し祈願料一万円以上）詳細はホームページにて御確認を御願致します。
※郵送の場合は送料千円。

期間限定 立春大吉縁起頒布

立春を寿ぎ大吉を招く幸運の縁起物



尚、事情により来社できない方は郵送の頒布も承っております。郵送の場合同封のお申し込み用紙とお振込用紙を使ってお申し込み頂けますようお願い致します。当分祠のホームページで詳しいお申込みのご案内がございます。（送料二〇〇円）

《貼り方》

二月四日の立春大吉の日に、玄関やお子様の勉強部屋、大切な部屋の入口等に外向きにのりや両面テープで少し高いところに貼り付けて下さい。

社頭にて一月一日より二月十九日（雨水）八百円で頒布しております。

立春大吉縁起の頒布期間は元日より二月十九日（雨水）迄

平成31年生	平成30年生	平成29年生	平成28年生	平成27年生	平成26年生	平成25年生	平成24年生	平成23年生	平成22年生	平成21年生	平成20年生	平成19年生	平成18年生	平成17年生	平成16年生	平成15年生
2019年 満0歳 数え1歳 八方除	2018年 満1歳 数え2歳	2017年 満2歳 数え3歳	2016年 満3歳 数え4歳 八方除 暗剣殺	2015年 満4歳 数え5歳	2014年 満5歳 数え6歳	2013年 満6歳 数え7歳 八方除	2012年 満7歳 数え8歳	2011年 満8歳 数え9歳 八方除	2010年 満9歳 数え10歳 八方除	2009年 満10歳 数え11歳	2008年 満11歳 数え12歳	2007年 満12歳 数え13歳 八方除 暗剣殺	2006年 満13歳 数え14歳	2005年 満14歳 数え15歳	2004年 満15歳 数え16歳 八方除	2003年 満16歳 数え17歳
平成14年生 2002年 満17歳 数え18歳 前厄(女) 八方除	平成13年生 2001年 満18歳 数え19歳 本厄(女) 八方除	平成12年生 2000年 満19歳 数え20歳 後厄(女)	平成11年生 1999年 満20歳 数え21歳	平成10年生 1998年 満21歳 数え22歳 八方除 暗剣殺	平成9年生 1997年 満22歳 数え23歳	平成8年生 1996年 満23歳 数え24歳 前厄(男)	平成7年生 1995年 満24歳 数え25歳 本厄(男) 八方除	平成6年生 1994年 満25歳 数え26歳 後厄(男)	平成5年生 1993年 満26歳 数え27歳 八方除	平成4年生 1992年 満27歳 数え28歳 八方除	平成3年生 1991年 満28歳 数え29歳	平成2年生 1990年 満29歳 数え30歳	平成元年生 昭和64年生 1989年 満30歳 数え31歳 暗剣殺 八方除	昭和63年生 1988年 満31歳 数え32歳 前厄(女)	昭和62年生 1987年 満32歳 数え33歳 本厄(女)	昭和61年生 1986年 満33歳 数え34歳 後厄(女) 八方除
昭和60年生 1985年 満34歳 数え35歳	昭和59年生 1984年 満35歳 数え36歳 前厄(女) 八方除	昭和58年生 1983年 満36歳 数え37歳 本厄(女) 八方除	昭和57年生 1982年 満37歳 数え38歳 後厄(女)	昭和56年生 1981年 満38歳 数え39歳	昭和55年生 1980年 満39歳 数え40歳 八方除 暗剣殺	昭和54年生 1979年 満40歳 数え41歳 前厄(男)	昭和53年生 1978年 満41歳 数え42歳 本厄(男) 八方除	昭和52年生 1977年 満42歳 数え43歳 後厄(男)	昭和51年生 1976年 満43歳 数え44歳	昭和50年生 1975年 満44歳 数え45歳 八方除	昭和49年生 1974年 満45歳 数え46歳 八方除	昭和48年生 1973年 満46歳 数え47歳	昭和47年生 1972年 満47歳 数え48歳	昭和46年生 1971年 満48歳 数え49歳 八方除 暗剣殺	昭和45年生 1970年 満49歳 数え50歳	昭和44年生 1969年 満50歳 数え51歳
昭和43年生 1968年 満51歳 数え52歳 八方除	昭和42年生 1967年 満52歳 数え53歳	昭和41年生 1966年 満53歳 数え54歳 八方除	昭和40年生 1965年 満54歳 数え55歳 八方除	昭和39年生 1964年 満55歳 数え56歳	昭和38年生 1963年 満56歳 数え57歳	昭和37年生 1962年 満57歳 数え58歳 八方除 暗剣殺	昭和36年生 1961年 満58歳 数え59歳	昭和35年生 1960年 満59歳 数え60歳 前厄(男)	昭和34年生 1959年 満60歳 数え61歳 本厄(男) 八方除 還暦	昭和33年生 1958年 満61歳 数え62歳 後厄(男)	昭和32年生 1957年 満62歳 数え63歳 八方除	昭和31年生 1956年 満63歳 数え64歳 八方除	昭和30年生 1955年 満64歳 数え65歳	昭和29年生 1954年 満65歳 数え66歳	昭和28年生 1953年 満66歳 数え67歳 八方除 暗剣殺	昭和27年生 1952年 満67歳 数え68歳
昭和26年生 1951年 満68歳 数え69歳	昭和25年生 1950年 満69歳 数え70歳 八方除 古希(こき)	昭和24年生 1949年 満70歳 数え71歳	昭和23年生 1948年 満71歳 数え72歳 八方除	昭和22年生 1947年 満72歳 数え73歳 八方除	昭和21年生 1946年 満73歳 数え74歳	昭和20年生 1945年 満74歳 数え75歳	昭和19年生 1944年 満75歳 数え76歳 八方除 暗剣殺	昭和18年生 1943年 満76歳 数え77歳 喜寿(きじゆ)	昭和17年生 1942年 満77歳 数え78歳	昭和16年生 1941年 満78歳 数え79歳 八方除	昭和15年生 1940年 満79歳 数え80歳 八方除 古稀(こき)	昭和14年生 1939年 満80歳 数え81歳 八方除	昭和13年生 1938年 満81歳 数え82歳 八方除	昭和12年生 1937年 満82歳 数え83歳	昭和11年生 1936年 満83歳 数え84歳	昭和10年生 1935年 満84歳 数え85歳 八方除 暗剣殺
昭和9年生 1934年 満85歳 数え86歳	昭和8年生 1933年 満86歳 数え87歳	昭和7年生 1932年 満87歳 数え88歳 八方除 喜寿(きじゆ)	昭和6年生 1931年 満88歳 数え89歳	昭和5年生 1930年 満89歳 数え90歳 喜寿(きじゆ) 八方除	昭和4年生 1929年 満90歳 数え91歳 八方除	昭和3年生 1928年 満91歳 数え92歳	昭和2年生 1927年 満92歳 数え93歳	昭和元年 大正15年生 1925年 満93歳 数え94歳 八方除 暗剣殺	大正14年生 1924年 満94歳 数え95歳	大正13年生 1923年 満95歳 数え96歳	大正12年生 1922年 満96歳 数え97歳 八方除	大正11年生 1921年 満97歳 数え98歳	大正10年生 1920年 満98歳 数え99歳 白寿(はくじゆ) 八方除	大正9年生 1919年 満99歳 数え100歳 八方除	大正8年生 1918年 満100歳 数え101歳	大正7年生 1917年 満101歳 数え102歳

※最初にお生まれの年を確認してください。該当の枠に書いてある年回りになります。（厄年・八方除けなど）
※今年の誕生日が来てこの表の該当年齢となりますが、新年を迎えたら誕生日前でも御祈願を承ります。
※1月1日より2月3日までには生まれた人はその前年生まれの人と同じになります。表の一つ右を見て下さい。
※数え年で見るものですが、御祈願は年齢に関わらずお受けいたします。（数え年でも満年齢でも可）
※御祈願は一つの願意につき一体のおれをご用意します。玉串料もそれぞれ必要になります。
※暗剣殺など年回りて気になる方は降除の御祈願になります。
※三万円以上の玉串料の御祈願をする際は巫女舞を奉納します。

祈願料 五千円・七千円・一万円・二万円・三万円（巫女舞奉納）

家内安全・縁結び・厄除・八方除・降除・身体健全・商売繁盛・事業繁栄・会社祈禱・社運隆昌・神恩感謝・交通安全・御車祓・安産・初宮詣・お宮参り・七五三・諸願成就・必勝祈願・合格祈願・学業成就・方位除け・お焚き上げ・長寿・還暦・古希・地鎮祭・出張祭典・結婚式 等 随時承ります。